

# どつぽろ!? 広報さつぽろ



大阪市『大阪市政だより（月1回発行。タブロイド判。8ページ）』※別に区版（月1回発行。大きさやページ数は区によって異なる）を発行



仙台市『仙台市政だより（月1回発行。A4判。32ページ）』※別に区版（月1回発行。A4判。8ページ）を発行



北九州市『市政だより きたきゅうしゅう（月2回発行。A4判。16ページ）』※区版を含む



横浜市『広報よこはま（月1回発行。タブロイド判。8ページ）』※別に区版（月1回発行。A4判。ページ数は区によって異なる）を発行

皆さんにとって、より望ましい広報誌の在り方とは、どのようなものですか？

## どのような内容を盛り込むのが良いと思いますか？

広報さつぽろには、大まかにいって、次のようなページがあります。

さまざまな行政上の課題や問題点を明らかにする特集。市政の動きや重要施策などを紹介する市政ホットニュース。各種催しの案内をはじめ、国民健康保険や市民税などに関するお知らせ。地域に根差した情報を載せている区民のページ。さらに、子供向けのページや、歴史をひもとくページ、皆さんの意見を紹介するページなどを年に数回設けています。

皆さんが、広報誌に求める情報とは、どのようなものでしょうか？

## どのような発行形態がふさわしいと思いますか？

広報誌のスタイルは、市町村によって千差万別。全国十二の政令市のうち、札幌市同様の冊子スタイルは、仙台と北九州の二市。残りの市は全てタブロイド判の新聞スタイルです。発行回数も、月一回と月二回のところがあり、ページ数も八ページから四十ページ以

上まで多種にわたっています。

こうした一般的な発行形態以外にも、金沢市では、広報誌そのものを発行せず、毎週新聞紙面にお知らせを掲載しています

情報をより効果的に伝えるには、どのような発行形態がふさわしいと思いますか？

## どのような配布方法が良いと思いますか？

広報さつぽろの配布は、基本的に町内会やマンション管理組合など、地域の皆さんにお願いしています。

現行の配布方法では、地域の実情に応じた、きめ細かな配布が可能です。しかし、最近は町内会などでも地域の実情をつかみきれなくなったり、配布をお願いしている方々の高齢化が進んだりしてきています。このため、配布に伴う負担が大きくなっているという側面があります。

ほかの市町村の配布例としては、専門の業者に委託して一軒ずつ配る方法や、新聞への折り込みなどがあります。また、今後は、希望者のみへの配布を前提とした、公共施設やコンビニエンスストアなどでの配布も考えられます。

皆さんは、どのような配布方法が良いと思いますか？